

40

“動くカバー”を機械に着せて、
スムーズな稼働を実現

株式会社長谷川ジャバラ

TEL.03-3805-3154 FAX.03-3806-4413

URL <https://www.hasegawa-jyabara.com>



長谷川 正範
代表取締役

代表者：代表取締役 長谷川 正範

所在地：〒116-0014 荒川区東日暮里1-24-4

資本金：1000万円

従業員：57人

創業年：昭和29年

業種：機械・部品製造

事業内容：蛇腹の設計・製造・販売・修理

社名に刻まれた歩み

掃除機のホース、列車の連結装置、アコーディオン、提灯…。蛇の腹のように伸縮することが名前の由来となる蛇腹は、日々の生活の身近なところで広く使われている。(株)長谷川ジャバラは、社名が表す通り、蛇腹の専門メーカー。とくに、各種工作機械をスムーズに稼働させるためのカバー用蛇腹を得意とし、機械メーカーなどに数多くの蛇腹関連品を納入してきている。「この機械には、こういう服を着せたい」といった思いが原点(長谷川正範代表取締役)と、社長以下、蛇腹づくりのプロたちが、顧客ニーズに合致するオーダーメイド製品を日々、開発・製造してきている。

同社の創業は昭和29年で、革製の蛇腹、ベルト、パッキングなどを製造する長谷川製作所として立ち上がった。事業を進めるに連れて蛇腹のウエートが高まったことから、昭和41年、長谷川蛇腹製作所に、同57年には長谷川ジャバラにそれぞれ商号を変更。今日では通称、「ハセジャバ」の蛇腹屋さんとして広く知られるようになっていく。

広範なジャンルで使われる蛇腹だが、ハセジャバが力を発揮するのは工作機械などの駆動部分をカバーする蛇腹だ。機械を動かすためのボールねじやリニアガイドは、裸のままでは粉塵や切り粉が付いて、動作不良につながりかねない。そこで“動くカバー”としての蛇腹が不良防止などで大きな役割を担うことになる。



手作業が欠かせない蛇腹づくり



機械カバーに用いる蛇腹

顧客の要望を具現化する力

多種多様な形状で、動きも千差万別な機械類にどんな蛇腹カバーを、どう付けるか…。長谷川代表取締役が唱える「こういう服を着せたい」とのアイデアが沸々と湧いてくるのが長年、蛇腹づくりに取り組んできた会社ならではの言えよう。

長谷川氏は「父親や叔父から、顧客の言う通りには作るなど教わった」と、奥義の一端を打ち明ける。その心は、大半の顧客は蛇腹に関しては素人でよく分かっていないので、顧客のオーダーを上回るベストソリューションを提案し形にするのがハセジャバの役目、ということか。

ベストソリューションを形にした数々の実績が、同社の評判を高め、その守備範囲を広げている。現在、工作機械のほかロボット、計測機器、医療機器、半導体関連などからも注文が舞い込んでいる。ホームページを通しての注文・問い合わせも少なくない。毎日、さまざまなジャンルから何件もの照会が寄せられるという。

会社では本社工場とつくば工場(茨城県つくばみらい市)の2拠点で蛇腹づくりに励んでいる。今後の方向性については「動くカバーで、世界中の困っている人を助けたい。また、国内の景気に左右されない経営体制を確立したい(長谷川代表取締役)と、海外進出にも意欲を示している。

長年の蛇腹づくりで土台を築く



オーダーメイド方式が当社ビジネスの基本。オーダーメイドには、各顧客の相談に乗れる土台が欠かせないと思っており、その面で、当社にはしっかりと土台が築けていると自負している。長年の蛇腹づくりを通して培われた技術、ノウハウが大きな財産となっているわけだ。1個だけから小ロットまでの注文に対応しているが、ものによっては中ロットにも対応している。生産のキモは、蛇腹づくりはどこまで行っても人の手が必要ということ、そこが他の製品とは異なる点。そのため、一朝一夕で身につくものではなく、専門メーカーの当社が活躍できる分野だと思っている。